



プレゼンテーション題目

AI 活用による自動化技術が実用化されてきたファーマコビジランス・プロセス

プレゼンテーション要旨

E2B(R3)規制対応の安全性情報管理システムが安定稼働に入り、数多くの製薬企業が将来の安全性管理プロセスを模索されていることと察します。さて、現在の直面する深刻な課題は、相変わらずの人海戦術に頼った非効率なプロセス、慢性的な人員不足、アウトソースによる経費増加が頭を悩ませているのが多くの企業かと予測します。

将来に渡り、増え続けていく安全性症例をいかに人手をかけず、効率化し、コストを抑制するために、自動化技術の採用を真剣にご検討されているかと察します。

弊社では、数多くの製薬企業が抱えるこれらの深刻な課題を解決するために、未来をもたらすソリューション「LifeSphere™」を数多くの企業に導入を実現してきました。LifeSphere™ の最大の特長であるコグニティブコンピューティングによるファーマコビジランス・プロセスのための AI を活用した自動化技術に焦点を絞り、弊社の製品がどこまで自動化技術を活用でき、ファーマコビジランス・プロセスに実用化できているのかを解説いたします。解説の際には、すでにシステムを実装・活用しております米国食品医薬品局 (FDA) を始めとした様々な大手製薬企業の活用事例を含めて解説させていただく予定です。

AI を活用した自動化技術によるファーマコビジランス・プロセスとは、症例識別やフォローアップのために、自動的な妥当性、関連性チェック、重複チェック、症例割り当て、コーディング、症例レビュー、ドキュメントの改訂等があります。また、追跡、ワークフロー管理、タッチレス、フォローアップのプロセス等も指しています。将来的にはメディカル・レビューさえもほぼ自動化されていき、相当な効率性を目指せるものと期待しております。弊社は、世界をリードしている製薬企業と共同で、自動化すべきファーマコビジランス・プロセスを分析、研究を繰り返し、実用化を目的とした製品開発のプロジェクトを推進してまいりました。

これらの自動化技術で、ファーマコビジランス・プロセスを飛躍的に効率化させることにより、皆様方の慢性的な人員不足の解消、アウトソースによる経費増加の抑制の一助になれば幸いです。

是非ともご参加いただきますようお願いいたします。

*** 競合他社様の本ランチョンセミナーへのご参加はご遠慮いただいております。**